	施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設
頁	施設名	
1-1.2.3	市民総合体育館	
2-1.2.3	総合スポーツ公園	
3-1.2.3	青少年スポーツホール	
4-1.2.3	市民プール「アクアパークきらめき」（管理棟）	
5-1.2.3	農業公園「サバーファーム」	
6-1.2.3	にこにこ市場	
7-1.2.3	青少年教育キャンプ場	
8-1.2.3	観光交流施設きらめきファクトリー	

富田林市個別施設計画　市民総合体育館

令和元(2019)年9月策定
令和元(2019)年⇒令和5(2023)年

所管部署	生涯学習部　生涯学習課

■1　施設概要

所在地	大阪府富田林市美山台4－1			
施設名	市民総合体育館			
大分類	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系			
中分類	スポーツ施設			
小分類	スポーツ施設			
財産関係	土地	市所有	建物	市所有

敷地面積	13,225.67㎡
建築面積	3,268.04㎡
延床面積	4,781.60㎡
劣化度	37.98
避難所指定	指定有り
制限事項	

（注記）　劣化度はH27年調査による。

■2　建物設置状況

No	建物名称	建築年度		築年数	延床面積	構造	階数(地上)(地下)		耐震性	劣化度	備考
		西暦	和暦								
1	体育館	1980	S55	40年	4,781.60㎡	RC	2	0	旧耐震(補強済)	37.98	
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

（注記）　劣化度はH27年調査による。

■3　利用運営状況

主な利用者･団体	市民等･市内スポーツ団体等										
年間運営日数	357日			定休日	年末年始･点検(1日)	運営時間	9時から21時				
職員数	□	直営	―								
	■	指定管理	ミズノグループ(美津濃株式会社、ミズノスポーツサービス株式会社)　常勤職員3名、非常勤職員11名でローテーション勤務								
施設利用状況(平成29年度)	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	稼働率	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	稼働率	
	競技場	4,275	3,683	164,439	86.2%						
	剣道場	1,429	1,138	27,220	79.6%						
	柔道場	1,429	1,011	20,764	70.7%						
	大会議室	1,429	415	12,175	29.0%						
	小会議室	1,429	533	6,785	37.3%						
	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ場	1,380	1,380	26,820	100.0%						
	卓球場	25,704	―	31,225	―						

■4 公共施設再配置計画における方針

設置目的	市民の体育及びスポーツの振興を図るとともに、青少年の健全育成並びに市民生活の向上に寄与する。		
機能方針	維持	建物方針	維持
具体的取組	他用途の受け入れや広域連携の検討		
主な課題	貸館・集会の機能統合や長寿命化及びバリアフリー化の検討		

■5 施設機能計画について

機能方針に伴う行動方針
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」における機能方針としては、維持としていることから、稼働率の低い施設について、指定管理者との連携によるスポーツ団体等への支援活動や団体間の連携による交流を促進し、稼働率向上を図ります。
行動方針に伴う行動計画
市として指定管理者に求めております「市民総合体育館稼働率の増（対27・28・29年度平均（58.23%）比 各年度2%ずつ増）」の達成方策について、指定管理者と協議を進めます。 これらを実現するための行動として、空き時間・スペースを新たな自主事業の実施や施設利用促進のための宣伝活動を実施するなど積極的な利用促進活動等に努めます。 具体的には、指定管理者と協議を進めながら、稼働率向上のための各種大会等の開催や施設のPRに努めます。
利用者等の意向把握
スポーツ関係団体との意見交換会やアンケート、ウェブサイトへのお問い合わせ、指定管理者のお客様相談センターから意見収集を行い、それらの内容を分析し、より効果効率的な施設運営につなげます。
課題及び考慮する点
平成21年度に耐震補強及び防水・外壁の改修工事を実施いたしましたが、引き続き施設の長寿命化に向けた検討を行う必要があります。 現在、アリーナ2階席は、車椅子にて観覧ができないことから、車椅子専用の観覧スペースの確保、2階会議室や柔・剣道場への車椅子利用者のためのスロープの設置、多目的トイレを2階に設置することなども課題となっており、バリアフリー改修についても、利用者等の意見も把握しながら効果的な投資をする必要があります。

備考	

■6　施設整備計画について

建物方針に伴う整備方針について
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」における建物方針としては、維持としていることから、耐用年数60年以上の確保を目的とした適切な維持管理を実施することで、施設の長寿命化を進めます。 なお、課題として掲げているバリアフリー化についての整備の検討を行います。

施設整備計画

建物名	設置年度	耐用年数	計画期間					以降の投資	整備費用概算（百万円）	対策による効果
構造	築年数	耐用残年数	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度			
体育館	S55	60年						エレベーター設置		利便性向上
RC	40年	20年						30	30	
備考	※設備の更新等については、適時対応するものとします。									

令和2年度以降の整備内容および整備費用については、予定であり、今後の財政状況等により変動することがあります。

富田林市個別施設計画　総合スポーツ公園

令和元(2019)年9月策定
令和元(2019)年⇒令和5(2023)年

所管部署	生涯学習部　生涯学習課

■1　施設概要

所在地	大阪府富田林市大字佐備2467－1			
施設名	総合スポーツ公園			
大分類	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系			
中分類	スポーツ施設			
小分類	スポーツ施設			
財産関係	土地	市所有	建物	市所有

敷地面積	50,287.00㎡
建築面積	2,234.75㎡
延床面積	2,888.14㎡
劣化度	37.92
避難所指定	なし
制限事項	

（注記）　劣化度はH27年調査による。

■2　建物設置状況

No	建物名称	建築年度		築年数	延床面積	構造	階数(地上)(地下)		耐震性	劣化度	備考
		西暦	和暦								
1	グラウンドスタンド	1993	H5	27年	1,144.30㎡	RC	2	0	新耐震	37.92	
2	野球場スタンド	1993	H5	27年	948.95㎡	RC	2	0	新耐震	37.92	
3	クラブハウス	1993	H5	27年	534.09㎡	RC	2	0	新耐震	37.92	
4	その他(9棟)				260.80㎡						便所、浄化槽、シェルター、あづまや
5											
6											
7											
8											
9											
10											

（注記）　劣化度はH27年調査による。

■3　利用運営状況

主な利用者･団体	市民等･市内スポーツ団体等									
年間運営日数	358日		定休日	12月29日から1月3日	運営時間	4月から10月：9時から21時 11月から3月：9時から17時				
職員数	□	直営	―							
	■	指定管理	ミズノグループ(美津濃株式会社、ミズノスポーツサービス株式会社)　常勤職員3名、非常勤職員10名でローテーション勤務							
施設利用状況(平成29年度)	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	稼働率	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	稼働率
	多目的競技場	1,860	610	26,930	32.8%					
	野球場	2,074	958	30,868	46.1%					
	テニスコート	16,592	7,473	29,037	45.0%					
	ゲートボール場	1,860	84	358	4.5%					

■4 公共施設再配置計画における方針

設置目的	豊かな自然に親しむ憩いの場及びスポーツ活動の場を市民に提供することにより、相互の交流を深め、心身の健全な発達を図り、市民生活の向上に寄与する。		
機能方針	維持	建物方針	維持
具体的取組	他用途の受入や広域連携の検討		
主な課題			

■5 施設機能計画について

機能方針に伴う行動方針
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」における機能方針としては、維持としていることから、稼働率の低い施設について、指定管理者との連携によるスポーツ団体等への支援活動や団体間の連携による交流を促進し、また、オーバスを活用し、近隣同施設との連携を図りながら稼働率向上を図ります。
行動方針に伴う行動計画
市として、指定管理者に求めております「多目的グラウンド（全面）稼働率の増（対27・28・29年度平均（40.40%）比 各年度1%ずつ増）、野球場の稼働率の増（対27・28・29年度平均（66.27%）比 各年度1%ずつ増）、テニスコートの稼働率の増（対27・28・29年度平均（50.97%）比 各年度3%ずつ増）」の達成方策について、指定管理者と協議を進めます。 これらを実現するための行動として、指定管理者と協議を進めながら、稼働率向上のための各種大会等の開催や空き時間・スペースを新たな自主事業の実施や施設利用促進のための宣伝活動を実施など積極的な利用促進活動等に努めます。
利用者等の意向把握
スポーツ関係団体との意見交換会やアンケート、ウェブサイトへのお問い合わせ、指定管理者のお客様相談センターから意見収集を行い、それらの内容を分析し、より効果効率的な施設運営につなげます。
課題及び考慮する点
建築築25年が経過しており、施設規模が大きいことからも、同時期での整備更新等が困難と思われることから、長寿命化に向けた整備を効率的に実施していく必要があります。 また、効率的な運用を図るため、周辺自治体における同種施設との広域連携を検討します。

備考	

■6 施設整備計画について

建物方針に伴う整備方針について
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」における建物方針としては、維持ということから、耐用年数60年以上の確保を目的とした適切な維持管理を行い、経年劣化によるスタンドの防水を年次的に実施いたします。

施設整備計画

建物名	設置年度	耐用年数	計画期間					以降の投資	整備費用概算（百万円）	対策による効果
構造	築年数	耐用残年数	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度			
グラウンドスタンド	H5	60年		スタンド防水						長寿命化
RC	27年	33年		60					60	
野球場スタンド	H5	60年				スタンド防水				長寿命化
RC	27年	33年				50			50	
クラブハウス	H5	60年								
RC	27年	33年								
備考										

令和2年度以降の整備内容および整備費用については、予定であり、今後の財政状況等により変動することがあります。

富田林市個別施設計画　青少年スポーツホール

令和元(2019)年9月策定
令和元(2019)年⇒令和5(2023)年

所管部署	生涯学習部　　生涯学習課

■1　施設概要

所在地	大阪府富田林市久野喜台二丁目2			
施設名	青少年スポーツホール			
大分類	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系			
中分類	スポーツ施設			
小分類	スポーツ施設			
財産関係	土地	市所有	建物	市所有

敷地面積	―
建築面積	932.26㎡
延床面積	1,069.42㎡
劣化度	66.58
避難所指定	なし
制限事項	

（注記）　劣化度はH27年調査による。
敷地は金剛中央公園敷地を使用しています。

■2　建物設置状況

No	建物名称	建築年度		築年数	延床面積	構造	階数(地上)(地下)		耐震性	劣化度	備考
		西暦	和暦								
1	体育館	1971	S46	49年	1,069.42㎡	S	1	0	旧耐震	66.58	
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

（注記）　劣化度はH27年調査による。

■3　利用運営状況

主な利用者･団体	市民団体等									
年間運営日数	358日			定休日	年末年始	運営時間	9時から21時			
職員数	□	直営	―							
	■	指定管理	ミズノグループ(美津濃株式会社、ミズノスポーツサービス株式会社)常勤職員1名、非常勤職員3名でローテーション勤務							

施設利用状況(平成29年度)	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	稼働率	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	稼働率
	体育館	2,852	1,791	39,549	62.8%					
	会議室	1,426	137	5,318	9.6%					

■4 公共施設再配置計画における方針

設置目的	青少年の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上を図る。		
機能方針	※	建物方針	※
具体的取組	（※）屋外型交流拠点化に向けた検討		
主な課題			

■5 施設機能計画について

機能方針に伴う行動方針
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」において、現在検討が進められている金剛地区再生指針に基づく金剛地区まちづくり会議において、金剛中央公園の屋外型交流拠点化に向けた検討を進めることとしております。 また、今後の施設の方向性について、金剛地区再生指針推進協議会や金剛地区まちづくり会議などのご意見や、広く意見・提案を求めるサウンディング調査を実施し、利活用の方向性、市場性の有無、市場性の確保に向けたニーズ把握を進めます。
行動方針に伴う行動計画
利用者、市民団体等のニーズの把握に、指定管理者とともに努めます。 また上記サウンディング調査に基づき、本施設のあり方の方向性を検討いたします。 平成30年度　　サウンディング調査実施 令和元年度以降　サウンディング調査結果を基に方向性を検討
利用者等の意向把握
サウンディング調査結果を基に、金剛地区再生指針推進協議会や金剛地区まちづくり会議、利用者及び利用団体への意向調査の実施をいたします。
課題及び考慮する点
旧耐震基準で建築されており、耐震補強が未実施であることから、耐震性能が確保されていません。施設自体も老朽化し、施設の保全について課題があります。 金剛地区まちづくり会議における市民ニーズと、サウンディング型市場調査による市場性の把握により、次年度以降検証を行う必要があります。

備考	

■6 施設整備計画について

建物方針に伴う整備方針について
現在検討が進められている「金剛地区再生指針」に基づく金剛地区まちづくり会議において、金剛中央公園の屋外型交流拠点化に向けた検討を進めます。

建物名	設置年度	耐用年数	計画期間					以降の投資	整備費用概算（百万円）	対策による効果
構造	築年数	耐用残年数	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度			
体育館	S46	60年						更新		
S	49年	11年						400	400	
備考	施設自体も老朽化し、また、耐震補強も未実施である。									

令和2年度以降の整備内容および整備費用については、予定であり、今後の財政状況等により変動することがあります。

富田林市個別施設計画　市民プール「アクアパークきらめき」(管理棟)

令和元(2019)年9月策定
令和元(2019)年⇒令和5(2023)年

所管部署	生涯学習部　生涯学習課

■1　施設概要

所在地	大阪府富田林市桜ケ丘町4－7			
施設名	市民プール「アクアパークきらめき」(管理棟)			
大分類	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系			
中分類	スポーツ施設			
小分類	スポーツ施設			
財産関係	土地	市所有	建物	市所有

敷地面積	37,700.24㎡
建築面積	244.00㎡
延床面積	328.00㎡
劣化度	41.80
避難所指定	なし
制限事項	

(注記)　劣化度はH27年調査による。

■2　建物設置状況

No	建物名称	建築年度		築年数	延床面積	構造	階数(地上)(地下)		耐震性	劣化度	備考
		西暦	和暦								
1	事務所	1978	S53	42年	278.00㎡	S	2	0	旧耐震(耐震性不明)	41.80	
2	その他				50.00㎡						ポンプ室
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

(注記)　劣化度はH27年調査による。

■3　利用運営状況

主な利用者･団体	市民等										
年間運営日数	42日　(7月21日から8月31日)					運営時間	10時から18時				
職員数	□	直営	―								
	■	指定管理	オーエンスグループ共同事業体(株式会社オーエンス、株式会社ウェルサイエンス) 常勤職員3名、非常勤職員65名でローテーション勤務								
施設利用状況 (平成29年度)	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	利用率	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	利用率	
	プール 利用者数			22,403							

■4　公共施設再配置計画における方針

設置目的	市民の健康増進と体力向上を図るため		
機能方針	維持	建物方針	維持
具体的取組	効率的運用の検討		
主な課題			

■5　施設機能計画について

機能方針に伴う行動方針
平成30年3月に策定した「公共施設再整備計画（前期）」における機能方針としては、維持としていることから、指定管理者と連携しながら、さらなる利用者サービス・利用者数の向上を図ります。
行動方針に伴う行動計画
上記方針に基づき、利用者の熱中症対策や利用者数向上のためのイベント、施設のPRに努めます。 ・熱中症対策として、定期的に注意喚起の放送、自動販売機の設置、ミネラル補強用の塩飴の設置を行います。 ・利用者サービス、利用者数の向上策として、浮き輪・ビーチボール・空気入れの設置などの無料レンタル、営業期間の一部拡大、飲食エリアの確保、ウェブサイトの開設による情報提供などを行います。
利用者等の意向把握
利用者の意向調査を実施し、結果を基に指定管理者と機能方針の具現化に向けた協議を行います。 令和元年度　アンケート実施。 令和2年度　結果を踏まえ次年度以降予算を要望
課題及び考慮する点
・耐震診断が未実施のため、耐震性能が不明であることから、耐震診断の必要性があります。 ・更衣室に空調設備がなく、昨今の猛暑からも、来場者の熱中症についての危惧があります。

備考	

■6 施設整備計画について

建物方針に伴う整備方針について
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」における建物方針としては、維持としていることから、耐用年数60年以上の確保を目的とした適切な維持管理を実施し、長寿命化を進めます。 なお、課題として掲げている耐震診断の実施や、熱中症対策として空調設備の設置も合わせて検討します。

建物名	設置年度	耐用年数	計画期間					以降の投資	整備費用概算（百万円）	対策による効果
構造	築年数	耐用残年数	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度			
事務所	S53	60年						（耐震補強）		長寿命化
S	42年	18年						10		
備考										

令和2年度以降の整備内容および整備費用については、予定であり、今後の財政状況等により変動することがあります。

富田林市個別施設計画　農業公園「サバ―ファーム」

令和元(2019)年8月策定
令和元(2019)年⇒令和5(2023)年

所管部署	産業環境部　農業振興課

■1　施設概要

所在地	大阪府富田林市大字甘南備2300			
施設名	農業公園「サバ―ファーム」			
大分類	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系			
中分類	レクリエーション・観光施設			
小分類	レクリエーション・観光施設			
財産関係	土地	一部借地	建物	市所有

敷地面積	336.00㎡
建築面積	2,485.02㎡
延床面積	2,584.06㎡
劣化度	32.85
避難所指定	なし
制限事項	

（注記）劣化度はH27年調査による。
敷地面積は借地(193,027㎡)を除きます。

■2　建物設置状況

No	建物名称	建築年度		築年数	延床面積	構造	階数(地上)(地下)		耐震性	劣化度	備考
		西暦	和暦								
1	加工場	1990	H2	30年	300.00㎡	S	1	0	新耐震	32.85	農畜産物処理加工施設
2	排水処理場	1991	H3	29年	48.00㎡	RC	1	0	新耐震		
3	管理棟(食堂)	1991	H3	29年	391.01㎡	S	1	0	新耐震	35.18	自然活用総合管理施設
4	管理棟(会議場)	1991	H3	29年	434.69㎡	S	1	0	新耐震	35.18	
5	管理棟(便所)	1991	H3	29年	16.00㎡	S	1	0	新耐震		
6	便所(ぼうけん砦横)	1993	H5	27年	22.68㎡	W	1	0	新耐震		体験農業園地等管理施設
7	便所(どろんこランド横)	1993	H5	27年	22.68㎡	W	1	0	新耐震		
8	休憩所(どろんこランド横)	1993	H5	27年	18.00㎡	W	1	0	新耐震		
9	作業所	1994	H6	26年	170.00㎡	S	1	0	新耐震	27.63	
10	休憩所(丘上下)	1994	H6	26年	18.00㎡	W	1	0	新耐震		
11	便所(丘上下)	1994	H6	26年	22.00㎡	W	1	0	新耐震		
12	温室	1993	H5	27年	753.12㎡	S	1	0	新耐震	35.06	農林漁業体験実習館
13	実習館	1993	H5	27年	353.84㎡	RC	1	0	新耐震	35.06	
14	店舗	1993	H5	27年	14.04㎡	W	1	0	新耐震		農産物販売所

（注記）劣化度はH27年調査による。

■3　利用運営状況

主な利用者･団体		市民等								
年間運営日数	308日		定休日	月曜日 12月29日から1月3日		運営時間	4月から9月：9時30分から18時(入園は17時まで) 10月から3月：9時30分から17時(入園は16時まで)			
職員数	□	直営	―							
	■	指定管理	農事組合法人　富田林市南地区協同組合　正職員12名　契約職員10名　パート職員32名							

施設利用状況(平成29年度)	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	稼働率	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	稼働率
	【貸館利用】					【一般利用】				
	会議室	616	4	177	0.6%	有料入園者数			76,953	
	調理室	616	145	1,803	23.5%	無料入園者数			11,422	
	工作室	616	9	32	1.5%					

■4 公共施設再配置計画における方針

設置目的	農業と豊かな自然に親しむ機会を市民に提供し、都市と農村の交流を図り、農業の振興と地域の活性化に寄与する。		
機能方針	維持	建物方針	維持
具体的取組	施設の魅力向上を検討・効率的運用の検討		
主な課題	機能更新の検討		

■5 施設機能計画について

機能方針に伴う行動方針
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」において機能方針においては、維持としていることから、「総合ビジョンおよび総合基本計画」にて掲げている「自然資源を活かした観光振興」に向け、地元等の協力のもと、本施設の魅力向上に努め、効果的・効率的な管理運営について検討を進めます。 また、既存施設内の機能の集約化などの検討を行い、その結果から生じた余裕空間については総合ビジョンにおける基本施策である「市民参加と協働によるまちづくり」の実現に資する他用途の受け入れを検討し、施設全体としての稼働率の向上を目指します。
行動方針に伴う行動計画
農を通じた体験・交流の促進で農地の多面的機能の活用を図り、自然や農にふれるイベント等に取り組むことで自然資源を活かした観光振興を図ります。 【スケジュール】 ・令和元年度　稼働率の低い施設の再活用検討。（利用目的の変更含む） ・　　入園料のみで可能な「イベント等」実施回数増で、本施設の魅力向上を図る ・令和2年度　稼働率の低い施設については、機能集約の検討 ・令和3年度　その結果生じた余剰空間について、庁内他施設の他用途の受け入れ検討
利用者等の意向把握
現在実施している利用者アンケートにより、施設の需要について意向を把握し、今後の機能方針や整備計画に取り組みます。 【具体的スケジュール】 ・令和元年度　利用者アンケートに継続して取り組み、その意向を把握し、利用者数の向上策に反映させます。SNS媒体の活用については、ツイッター及びインスタグラムを通じた情報発信に努めている中で新たな取り組みを検討いたします。 ・令和2年度以降も同様の取り組みを継続する
課題及び考慮する点
・6 次産業化、農産物特産品のブランド化等、都市農業振興に向けた積極的な機能更新について検討する必要があります。 ・繁忙期には、来園者の利用するトイレも不足し、既存のトイレも設備の更新時期を迎えていることから、ユニバーサルデザイン化を進めます。また、他の施設においても一部バリアフリー化対応のできていない箇所については、利用者の意向把握を進めながら優先順位を判断し、改修等のタイミングでの整備を行い、効率的な投資を行うこととします。 ・設立の趣旨を踏まえた市立公園としての農業公園のあり方について、指定管理業務と主に農地で行われる自主事業とのバランスが課題です。 ・敷地の大半が有償借地（農地）となっています。

備考	

■6 施設整備計画について

建物方針に伴う整備方針について
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」における建物方針としては、維持ということから、耐用年数60年以上の確保を目的とした建物の適正な維持管理を実施し、長寿命化を進めます。 入口から一番遠方にあるどろこんこランド横のトイレと休憩所については、入園者の利便性を勘案し、バリアフリー及び長寿命化の観点から、大規模改修を行います。 なお、管理棟については、建築後29年を経過し、老朽化が見受けられることから、本計画期間内終了後速やかに屋根・屋上の改修を検討いたします。 また、本計画期間内については、指定管理者と協議し、利用者数増に向けた建物整備の検討を行います。

施設整備計画

建物名	設置年度	耐用年数	計画期間					以降の投資	整備費用概算（百万円）	対策による効果
構造	築年数	耐用残年数	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度			
加工場	H2	60年								
S	30年	30年								
排水処理場	H3	60年								
RC	29年	31年								
管理棟（食堂）	H3	60年						屋根屋上改修		長寿命化
S	29年	31年						10	10	
管理棟（会議場）	H3	60年						屋根屋上改修		長寿命化
S	29年	31年						10	10	
管理棟（便所）	H3	60年								
S	29年	31年								
便所（ぼうけん砦横）	H5	40年								
W	27年	13年								
便所（どろんこランド横）	H5	40年		大規模改修						長寿命化
W	27年	13年		5					5	
休憩所（どろんこランド横）	H5	40年		大規模改修						長寿命化
W	27年	13年		5					5	
作業所	H6	60年								
S	26年	34年								
休憩所（丘上下）	H6	40年								
W	26年	14年								
便所（丘上下）	H6	40年								
W	26年	14年								
温室	H5	60年								
S	27年	33年								
実習館	H5	60年								
RC	27年	33年								
店舗	H5	40年								
W	27年	13年								
備考										

令和2年度以降の整備内容および整備費用については、予定であり、今後の財政状況等により変動することがあります。

富田林市個別施設計画　にこにこ市場

令和元(2019)年9月策定
令和元(2019)年⇒令和5(2023)年

所管部署	産業環境部　農業振興課

■1　施設概要

所在地	大阪府富田林市大字甘南備2300ー他(農業公園内)			
施設名	にこにこ市場			
大分類	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系			
中分類	レクリエーション・観光施設			
小分類	レクリエーション・観光施設			
財産関係	土地	一部借地	建物	市所有

敷地面積	―
建築面積	141.96㎡
延床面積	141.96㎡
劣化度	7.54
避難所指定	なし
制限事項	

（注記）　劣化度はH27年調査による。
敷地は農業公園敷地を使用しています。

■2　建物設置状況

No	建物名称	建築年度		築年数	延床面積	構造	階数(地上)(地下)		耐震性	劣化度	備考
		西暦	和暦								
1	販売所	2009	H21	11年	141.96㎡	S	1	0	新耐震	7.54	
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

（注記）　劣化度はH27年調査による。

■3　利用運営状況

主な利用者･団体	市民等										
年間運営日数	360日			定休日	12月31日から1月4日		運営時間	4月から9月：9時30分から17時 10月から3月：9時30分から16時			
職員数	□	直営	―								
	■	指定管理	農事組合法人　富田林市南地区協同組合　正職員12名　契約職員10名　パート職員32名								
施設利用状況 （平成29年度）	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	利用率	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	利用率	
	農産物直売所			67,264							

■4 公共施設再配置計画における方針

設置目的	サバーファーム内で採れた農産物や苗ものなどのほか、地元富田林で生産された季節の野菜・果物・卵・切花などを販売する。		
機能方針	維持	建物方針	維持
具体的取組	集客力の強化・効率的運用の検討		
主な課題	機能更新の検討		

■5 施設機能計画について

機能方針に伴う行動方針
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」における機能方針としては、維持としていることから、「総合ビジョンおよび総合基本計画」にて掲げている「農産物の生産価値向上」に向け、農業公園「サバーファーム」との一体的な運営及び地元等による協力のもと、集客力の強化に努め、その上で効果的・効率的な管理運営について検討を進めます。
行動方針に伴う行動計画
上記方針に基づき、計画期間内に機能面について、以下のとおり検討を進めます。 【具体的スケジュール】 ・令和元年度　イベント（毎月25日のにこにこの日、年末のにこにこ感謝祭）の充実で新規顧客リピーターの獲得 　　市内農業者へのさらなる働きかけで農産物出品数を充実 ・令和2年度以降も同様の取り組みを継続
利用者等の意向把握
現在実施している利用者アンケートにより、施設の需要について意向を把握し、今後の機能方針や整備計画の参考とすることとします。 【具体的スケジュール】 ・令和元年度　利用者アンケートに継続して取り組み、その意向を把握し、利用者数の向上策に反映 ・令和2年度以降も同様の取り組みを継続 ・農業公園と連携して、施設魅力の向上
課題及び考慮する点
・6 次産業化、農産物特産品のブランド化等、都市農業振興に向けた積極的な機能更新について検討する必要があります。 ・敷地の大半が有償借地（農地）となっています。

備考	

■6　施設整備計画について

建物方針に伴う整備方針について
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」における建物方針としては、維持ということから、耐用年数60年以上の確保を目的とした建物の適切な維持管理を実施することで、長寿命化を進めます。 なお、まだ建築年数が11年ということから、本計画期間内では特に大きな改修は予定しておりません。

施設整備計画

建物名 構造	設置年度 築年数	耐用年数 耐用残年数	計画期間 令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	以降の投資	整備費用概算 （百万円）	対策による 効果
販売所	H21	60年								
S	11年	49年								
備考										

令和2年度以降の整備内容および整備費用については、予定であり、今後の財政状況等により変動することがあります。

富田林市個別施設計画　青少年教育キャンプ場

令和元(2019)年9月策定
令和元(2019)年⇒令和5(2023)年

所管部署	生涯学習部　　生涯学習課

■1　施設概要

所在地	大阪府富田林市大字伏見堂1004－25			
施設名	青少年教育キャンプ場			
大分類	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系			
中分類	レクリエーション・観光施設			
小分類	レクリエーション・観光施設			
財産関係	土地	市所有	建物	市所有

敷地面積	4,955.00㎡
建築面積	130.91㎡
延床面積	164.93㎡
劣化度	71.66
避難所指定	なし
制限事項	

（注記）　劣化度はH27年調査による。

■2　建物設置状況

No	建物名称	建築年度		築年数	延床面積	構造	階数(地上)(地下)		耐震性	劣化度	備考
		西暦	和暦								
1	事務所	1979	S54	41年	41.40㎡	W	1	0	旧耐震(耐震性不明)	69.36	
2	事務所	1979	S54	41年	51.03㎡	W	2	0	旧耐震(耐震性不明)	74.13	
3	その他(5棟)				72.50㎡						便所、調理場、炊事場等
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

（注記）　劣化度はH27年調査による。

■3　利用運営状況

主な利用者･団体	市内青少年教育団体等										
年間運営日数	274日　(4月1日から11月30日)					運営時間	日帰り:9時から17時 宿泊:9時から翌日17時				
職員数	□	直営	―								
	■	指定管理	ミズノグループ(美津濃株式会社、ミズノスポーツサービス株式会社)　常駐　0人								
施設利用状況 (平成29年度)	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	利用率	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	利用率	
	管理棟	274	13	288	4.7%						
	避難棟･備品庫	274	13	288	4.7%						

■4 公共施設再配置計画における方針

設置目的	本市青少年に対し、集団活動を通じて生活指導及び野外活動を行い、もって健全な青少年を育成する。		
機能方針	廃止	建物方針	廃止
具体的取組	機能廃止、並びに施設の除却及び跡地の売却等の検討		
主な課題			

■5 施設機能計画について

機能方針に伴う行動方針
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」における機能方針としては、廃止としていることから、本施設の廃止についての検討を進めます。
行動方針に伴う行動計画
令和5年度末の廃止に向け、指定管理者・利用団体・近隣地権者と調整を行います。 ・令和元年度　機能廃止について、上記関係者との調整 ・令和2年度　同上 ・令和3年度　機能廃止についての庁内調整 ・令和4年度　条例改正 ・令和5年度　機能廃止
利用者等の意向把握
令和5年度末を目途に、キャンプ場施設の除却及び跡地の売却等について、近隣地権者の意向把握を行います。 ・令和元年度から令和2年度に実施予定
課題及び考慮する点
機能廃止の手法（跡地の再活用、売却、貸付など）により、建物を現状のまま存置するのか、除却整備の投資をするのかの考慮が必要です。 市が所有している本施設への進入路について、近隣地権者も利活用していることから、施設廃止時に考慮が必要です。

備考	

■6　施設整備計画について

建物方針に伴う整備方針について
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」における建物方針としては、廃止としていることから、その手法について検討し、廃止いたします。 なお、その整備手法については、関係者との協議も含めて検討いたします。

施設整備計画

建物名	設置年度	耐用年数	計画期間					以降の投資	整備費用概算（百万円）	対策による効果
構造	築年数	耐用残年数	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度			
事務所	S54	40年					廃止（除却）			効率化
W	41年	-1年					5		5	
事務所	S54	40年					廃止（除却）			効率化
W	41年	-1年					5		5	
備考										

令和2年度以降の整備内容および整備費用については、予定であり、今後の財政状況等により変動することがあります。

富田林市個別施設計画　観光交流施設きらめきファクトリー

令和元(2019)年9月策定
令和元(2019)年⇒令和5(2023)年

所管部署	産業環境部　商工観光課

■1　施設概要

所在地	大阪府富田林市本町498－2			
施設名	観光交流施設きらめきファクトリー			
大分類	ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ系			
中分類	レクリエーション・観光施設			
小分類	レクリエーション・観光施設			
財産関係	土地	市所有	建物	市所有

敷地面積	275.65㎡
建築面積	164.50㎡
延床面積	251.39㎡
劣化度	3.00
避難所指定	なし
制限事項	

（注記）　劣化度はH27年調査による。

■2　建物設置状況

No	建物名称	建築年度		築年数	延床面積	構造	階数(地上)(地下)		耐震性	劣化度	備考
		西暦	和暦								
1	観光交流施設	2015	H27	5年	251.39㎡	S	2	0	新耐震	3.00	
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

（注記）　劣化度はH27年調査による。

■3　利用運営状況

主な利用者･団体	市民等						
年間運営日数	359日	定休日	12月29日から1月3日	運営時間	10時から21時		
職員数	□ 直営	―					
	■ 指定管理	富田林産業文化芸術連携体 館長1名、副館長2名(館長、副館長 3名でローテーションし、1日2名)、非常勤7名(非常勤7名でローテーションし、1日2名) 1日に4名が時間差で勤務し、常時最低2名が勤務している。					

施設利用状況(平成29年度)	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	稼働率	室名	可能コマ数	利用コマ数	利用人数	利用率
	2階全室	718	335	3,880	1日2コマ利用可能であるため、年間運営日数359日を基にした2階全室の稼働率は46.7%。 また、展示スペースの稼働率は7.4%。 ただし、施設としてはオープンスペースとして常時稼働しているため、その場合の稼働率は100%となる。					
	展示スペース	718	53	642						

■4 公共施設再配置計画における方針

設置目的	富田林市内に点在する観光資源を活用し、地域の取組みを基盤としたにぎわいの拠点づくりを進める。		
機能方針	維持	建物方針	維持
具体的取組	効率的運用の検討		
主な課題	・寺内町関連施設及び周辺市町村との連携　・広域的な観光マネージメントの検討		

■5 施設機能計画について

機能方針に伴う行動方針
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」における機能方針としては、維持としていることから、単なる貸館業務としての稼働率の向上を目指すのではなく、観光施設として観光振興に資する稼働を目指します。 また、「総合ビジョンおよび総合基本計画」にて掲げている「魅力のあふれるまちのにぎわいづくり」に向け、本市の魅力を伝える情報発信、地域産品の物販等の充実で来訪者の増加を目指します。
行動方針に伴う行動計画
上記方針に基づき、計画期間内に観光資源の開発及び魅力発信事業について、以下のとおり検討を進めます。 ・歴史的遺産や地域文化など地域との関わりに基づくイベントなどを通して、観光資源や文化を発信する事業の検討 ・寺内町を中心とした地元のまちなみや地域食材をはじめ、固有の資源を芸術と融合させる事業の検討 ・創業希望者や観光資源の活用により市の魅力をPRする事業者に対して、チャレンジショップ支援を行うなど、地域交流連携を目的とした事業の検討
利用者等の意向把握
現在、施設内に常時アンケートBOXを設置し、来館者の意見を収集する仕組みを作っており、施設の運営に活かす取り組みをしています。利用者の満足度向上のため、より多くの意見を収集し、観光交流施設として多くの方にご利用いただけるよう、アンケートの手法等については今後考えていく必要があると考えています。 また、引き続き、観光マップなどの資料請求時に、市外の方々のご意見を伺えるよう情報収集に努めていきます。加えて、寺内町でのイベント時にも来街目的や感想などの項目を設定したアンケートを実施し、きらめきファクトリーの運営に繋げていくこととします。 平成30年度から貸館時のアンケートと館内イベントでのアンケートを実施
課題及び考慮する点
寺内町関連施設との連携に関しては、日頃から情報交換を行うなど連携を取りつつイベントを通して連携し、寺内町のまちなみを活かしたPRを行っていきます。また周辺市町村についても、近隣自治体だけではなく商工会や観光協会とも連携するとともに、きらめきファクトリーが南河内の玄関口としての役割りを担っていることから、広域的な観光マネジメントの効果的な手法等についても検討していきます。 近隣他施設と同機能の利用状況も見受けられるが、市民の利用に加えて、本来観光客向けのワークショップの開催等を行うことを目標としていることから、魅力発信につながるような資源の開発やPRに努めていきます。 本施設はまちづくり交付金を活用し整備したものであるため、貸館や物販など利用方法に制限があります。

備考	

■6　施設整備計画について

建物方針に伴う整備方針について
平成30年3月に策定した「公共施設再配置計画（前期）」における建物方針としては、維持としていることから、耐用年数40年以上の確保を目的とした建物の適切な維持管理を実施することで、長寿命化を進めます。 また、消防法により現在の施設では、物販や調理スペースの利用などにも制限があるため、それらの拡大や利用促進を図るために、法に適合する防災設備の整備について検討いたしますが、まだ築年数が浅いことから、本計画期間内では大きな改修は予定しておりません。

施設整備計画

建物名	設置年度	耐用年数	計画期間					以降の投資	整備費用概算（百万円）	対策による効果
構造	築年数	耐用残年数	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度			
観光交流施設	H27	40年								
S	5年	35年								
備考										

令和2年度以降の整備内容および整備費用については、予定であり、今後の財政状況等により変動することがあります。